

本で深める家族のふれあい

うちどく



「うちどく(家読)」とは、家族で読書をする事。読書を通して家族のコミュニケーションを図ろうという試みです。家族みんなで本を読んで、その本について話したら、それが「うちどく」です。読んだ本について家族で話すことで、子どもも大人も一緒に成長し、心の豊かさをはぐくむことができます。

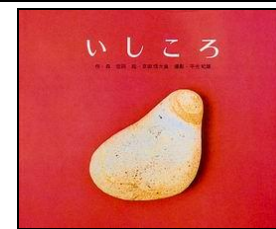
難しいルールや決まったやり方はありません。おうちの生活スタイルにあった「わがやのうちどくルール」をつくって、自由に読書をしてください。

「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！

乳幼児

から
おすすめ

現在購入できる版の出版年を掲載しています。価格は2013年10月末現在の本体価格です。



いしころ
森 宏詞/作
京田 信太良/絵
平光 紀雄/撮影
文研出版
1973年 ¥1100

どこにでもあるいしころ。よく見てごらん。ただのいしころがいろいろな物に見えてくるはず。自由な発想に満ちあふれたいしころの本。子どもと一緒に、何に見えるかあてっこしながら読んでみては？



くさはらどん
松岡 達英/さく
福音館書店
2010年 ¥800

「どん」と地面を力強く踏みしめると、慌てて飛んでいくバッタやチョウたち。それまで静かだった草はらは、にわかに賑やかに！この本を読んだ後は、生き物たちとの出会いに胸躍らせて、草はらに自分たちの足を「どん」と踏みしめたくなることでしょう。



ねことライオン
にてる？ にてない？
ひさかたチャイルド
2011年 ¥1400

住むところも体の大きさもまったく違うけれど、どこか似ているねことライオン。両方の動物のいろいろなところを写真で見比べながら、似ているところと似ていないところを探してみましょう。実物大のライオンの顔は今にも飛び出してきそうですよ。



からすのパンやさん
加古 里子/絵と文
偕成社
1973年 ¥1000

いずみがもりのからすのパンやさんに、4羽の赤ちゃんが生まれました。子育てが忙しく、お客さんが減っていったパンやさんは、子どもたちの意見をきいて、いろんなパンを作ります。何十もの形のパンやからすたちの表情が見えて楽しい絵本です。



つきよ
長 新太/さく
教育画劇
1986年 ¥1300

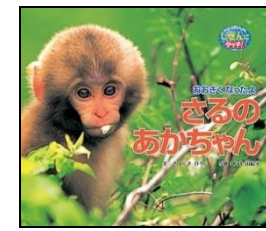
こだぬきは家へ帰る途中、山の上からすべりおりにきたお月さまの秘密を見てしまいます。こだぬきは両手でおなかを「きゅうっ」とつかんでしまうほど驚きます。静かな夜の、こだぬきとお月さまの秘密のおはなしです。

		
<p>しゅくだい 宗正 美子／原案 いもと ようこ／文・絵 岩崎書店 2003年 ¥1300</p> <p>先生からちょっとかわった宿題がでました。おうちの人がいなくてできない宿題です。子どもたちは大騒ぎしながらも何だか嬉しそう。こんなステキな宿題なら、毎日あってもいいですね。</p>	<p>のっぺらぼう 杉山 亮／作 軽部 武宏／絵 ポプラ社 2010年 ¥1200</p> <p>母親に言われたことを、すっかり忘れて帰りが遅くなってしまった男の子。あわてて山をおりて行きましたが、その途中で出会ったのは…!? ちょっぴりこわいけど、ホッとするおはなしです。</p>	<p>ぼちぼちいこか マイク=セイラー／さく ロバート=グロスマン／え いまえ よしとも／やく 偕成社 1980年 ¥1200</p> <p>いろいろな仕事に挑戦してみるけど、失敗ばかりでうまくいかない! 「どないしたらええのんやろ」かば君はどんな答えを出すのでしょうか? 関西弁で書かれた、ゆったりしたおはなし。</p>
		
<p>まっくろネリノ ヘルガ=ガルラー／さく やがわ すみこ／やく 偕成社 1973年 ¥1000</p> <p>兄弟の中で、1匹だけまっ黒なネリノ。そのせいで、ネリノはいつもひとりぼっち。どうして自分だけがまっ黒なんだろう…。そんな時、兄さん達が行方不明に! ? 鮮やかに優しいパステル画からも味わい深いメッセージが伝わってきます。</p>	<p>おんどりとえんどうまめ 宮川 やすえ／文 岩本 康之亮／絵 ひさかたチャイルド 2006年 ¥1200</p> <p>いつもせかせかしているおんどりが、ある日えんどうまめをのどに詰まらせてしまいました。驚いたためんどりは、急いでおかみさんのところへとんでいきますが…。ロシアに伝わる楽しい昔話。</p>	<p>ワニ夫のなみだ 戒田 節子／作 青木 のりあき／絵 創風社出版 2000年 ¥1600</p> <p>いじめっこのワニ夫がちょうちょのヒラヒラに恋をしました! 一緒に楽しく幸せに暮らしていたある嵐の日、ヒラヒラが木の枝の下敷きに…。大洲市出身の青木のりあきさんが絵を描いた心あたたまる恋物語。</p>

小学校 低学年 から おすすめ

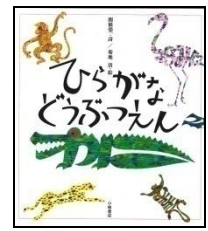
現在購入できる版の出版年を掲載しています。価格は2013年10月末現在の本体価格です。

		
<p>せかいでいちばんママがすき あいはら ひろゆき／作 あだち なみ／絵 教育画劇 2007年 ¥1100</p> <p>小学生のゆうたと4歳のももはママがだいすき! でもある日、ママが入院することになりました。おにいちゃんとして精いっぱい頑張っているゆうたの姿に胸打たれる、愛しい家族の物語。</p>	<p>ルルとらうのふんわりムース あんびる やすこ／作・絵 岩崎書店 2011年 ¥1000</p> <p>ふわふわしたものが好きなこうさぎのポフィと、ふわふわが嫌いがかたいものが好きなハリネズミのエリー。正反対のふたりだけど、仲良くなれるかな? 簡単に作れるムースのレシピもたくさん。家族みんなで作って食べよう!</p>	<p>わたしのおかあさんは世界一びじん ベッキー・ライアー／ぶん 光吉 郁子／やく ルース・ガネット／え 大日本図書 2010年 ¥1200</p> <p>迷子になったワーリャは「おかあさんは世界一びじん」と言いました。そこで、村じゅうから美人のおかあさんが集められて…。心あたたまる母と子のお話です。</p>



おおきくなったよ さるのあかちゃん
さえぐさ ひろこ／文
常田 英士／監修
松成 由起子／写真撮影
ひさかたチャイルド
2008年 ¥1000

春、ニホンザルのあかちゃんが生まれました。季節の移り変わりとともに、さるのあかちゃんも成長していきます。自然とふれあう楽しさを感じる写真絵本。



ひらがなどうぶつえん
関根 栄一／詩
菊地 清／絵
小峰書店
1997年 ¥1500

五行の詩とカラフルな絵で五十音順に動物を紹介。動物の絵はよく見ると、なんと名前がひらがなで書いてあります! 巻末には、「どうぶつクイズ」も付いていて、一冊まるごとひらがなづくしの愉快な絵本。

		
<p>うんこ日記 村中 李衣/作 川端 誠/作 BL 出版 2004年 ¥1200</p> <p>しょうへいが、1週間の旅に出ているお父さんに見せたのは、でっかいうんこの絵でした。それはただの絵ではなく、1週間のごはんの記録。それを見たお父さんは…。うんこを通して家族の交流を描いた楽しい絵本。</p>	<p>きつねのおきゃくさま あまん きみこ/ぶん 二俣 英五郎/え サンリード 1984年 ¥1200</p> <p>お腹をすかせたきつねが、やせているひよこに出会いました。きつねは、ひよこを太らせて食べようと、自分の家に連れて帰りますが…。本当の優しさとは？心の奥の大切なものに出合えるお話です。</p>	<p>ねずみのよめいり おざわ としお/再話 かないだ えつこ/絵 くもん出版 2007年 ¥1600</p> <p>大切に育てた娘ねずみが年頃になったので、父さんねずみは娘のために、世界一のお婿さん探しに出かけて行きます。世界で一番えらいお婿さんとは一体誰なのでしょう？昔話の豊かな世界観を味わえる一冊です。</p>
		
<p>ゴリオとヒメちゃん アンソニー・ブラウン/さく 久山 太市/やく 評論社 2009年 ¥1400</p> <p>動物園で何不自由なく暮らしていたゴリラのゴリオは、ある日、友達がほしいと思いました。世話係の人が「たべたらだめだよ」と連れてきたのは、子ねこのヒメちゃん。最後に思わず笑みがこぼれる素敵な友だちのおはなし。</p>	<p>しずくのぼうけん マリア・テルリコフスカ/さく うちだ りさこ/やく ポフダン・プテンコ/え 福音館書店 1969年 ¥800</p> <p>ある日、むらのおばさんのバケツから、みずがひとしずく飛び出しました。長い長い旅のはじまりです。蒸気になったり氷になったり、水の性質が物語でわかる作品。しずくと冒険の旅にでかけましょう！</p>	<p>おいしいのぼうけん ふるた たるひ/さく たばた せいいち/さく 童心社 1980年 ¥1300</p> <p>お昼寝前にけんかをしたさととあきらが、おしおきのために入れられた押し入れで出会ったのは、おそろしいねずみばあさんでした。発売以来のロングセラー、四国中央市出身の古田足日さんが田畑精一さんと作った作品。</p>

小学校 中学年 から おすすめ

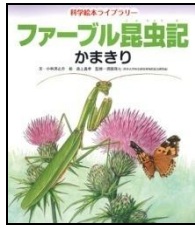
現在購入できる版の出版年を掲載しています。価格は2013年10月末現在の本体価格です。

		
<p>四季のことば絵事典 荒尾 禎秀/監修 PHP 研究所 2009年 ¥2800</p> <p>俳句のなかで春夏秋冬をあらわすことば「季語」。それぞれの季節にどんな季語があるのか、季語にはどんな意味があるのか、イラストとともに紹介されています。身のまわりにある四季を感じるものを探して、一句よんでみませんか？</p>	<p>ももいろのきりん 中川 李枝子/著 中川 宗弥/え 福音館書店 1965年 ¥1300</p> <p>るるこは、お母さんからもらった大きな桃色の紙でキリンを作りました。キリカと名付けられ、大きな目と口を描きこまれて命が宿ります。キリカの背に乗って、るること一緒にワクワクする冒険の世界に出かけてみませんか。</p>	<p>びりっかすの神さま 岡田 淳/作・絵 偕成社 1988年 ¥1000</p> <p>転校してきた始の目の前を横切ったのは、背中に翼のある小さな男の人「びりっかすさん」！ビリをとった人だけが、びりっかすさんを見ることができて、びりっかすさんと心の中で話せます。一番になるより大切なことを描いた物語。</p>



ホネホネたんけんたい
西澤 真樹子/監修・解説
大西 成明/しゃしん
松田 素子/ぶん
アリス館
2008年 ¥1500

ホネにはふしぎがいっぱい！ホネ研究室のマキコ隊長が、様々な動物のホネの写真と一緒に、大人も知らないホネの秘密について教えてください。家族みんなで楽しめる一冊。



ファール昆虫記 かまきり
ファール/[原作]
小林 清之介/文
森上 義孝/絵
須田 孫七/監修
ひさかたチャイルド
2007年 ¥1400

みんなのよく知っているカマキリ。でもたまごや赤ちゃんまで見たことがありますか？ファールおじさんが調べたカマキリの変った暮らしぶりを詳しく紹介する科学絵本。



ひかる! 1
後藤 竜二/作
スカイエマ/絵
そうえん社
2008年 ¥950

今日から4年生!負けずぎらいな女の子・ひかるは、ドッジボール大会での優勝を宣言します。だけど、やる気がからまわりしてクラスから孤立してしまい…。本気で頑張る女の子の、パワフルな物語。



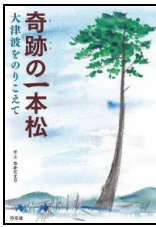
ゆかいなホームーくん
ロバート・マックロスキー/作
石井 桃子/訳
岩波書店
2000年 ¥640

アメリカの田舎町に住む少年ホームー君の周りでは、いつもおかしな出来事がおこります。ペットのスカンクと協力して強盗をつかまえたり、ドーナツ洪水事件にまきこまれたり…。ホームー君の愉快な大活躍に目が離せません。



アーヤと魔女
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作
田中 薫子/訳
佐竹 美保/絵
徳間書店
2012年 ¥1700

身よりのない子どもの家で暮らしていたアーヤは、魔女の家にひきとられます。こきつかわれてばかりの毎日が嫌になり、魔女に立ち向かうための呪文をつくることに…。『ハウルの動く城』原作者の遺作。



奇跡の一本松
大津波をのりこえて
なかだ えり/絵・文
汐文社
2011年 ¥1800

東日本大震災の大津波によって流された高田松原の松たち。その中で、たった一本だけ生き延びた「奇跡の一本松」に、人々は再生と希望の願いを込めました。二度とくり返してはならない悲劇と教訓がひしひしと伝わってくる一冊。



1つぶのおこめ
さんすうのむかしばなし
テミ/作
さくま ゆみこ/訳
光村教育図書
2009年 ¥1900

けちな王様に村娘ラーニが頼みました。「今日はお米を1つぶだけ、そして30日の間それぞれ前の日の倍の数だけお米をください。」さて30日後はいったい何粒?鮮やかなイラストが美しい、インドの算数の昔話。



坂本龍馬
幕末の日本を駆けぬける
国松 俊英/著
十々夜/画
岩崎書店
2009年 ¥600

幕末の日本を駆けぬけた坂本龍馬とは、いったいどんな人物だったのでしょうか?高知県に生まれ、新時代の扉をひらいたヒーロー・坂本龍馬の生涯を描いた作品。大洲藩の船“いろは丸”も登場しますよ。

小学校 高学年 から おすすめ

現在購入できる版の出版年を掲載しています。価格は2013年10月末現在の本体価格です。



富士山の大図鑑
富士学会/監修
PHP 研究所
2013年 ¥2800

2013年6月、世界遺産に登録された富士山。世界にほこる日本のシンボルについて、どれだけ知っていますか?みんなの知らない秘密が、まだまだたくさんあるかもしれません。自然環境、歴史・文化、登山ルートなど、富士山の魅力が盛りだくさんの一冊。



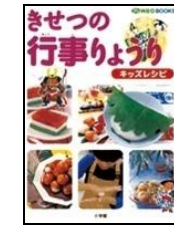
箸の絵本
兵左衛門/へん
つちはし としこ/え
農山漁村文化協会
2008年 ¥1800

ごはんを食べるときに欠かせない“箸”。その箸にも、いろんな種類があるんです。世界の箸や、箸の歴史、使い方、つくり方など、箸についての知識がいっぱい詰まった本。おうちの人と、自分の箸をつくってみよう!



世界の鳥の巣の本
鈴木 まもる/著
岩崎書店
2001年 ¥2200

ツバメはどこに巣を作るか知っていますか?木の上や水の上、土の中など、鳥によって巣を作る場所はさまざま。この本には、世界各地の鳥の巣と卵が紹介されています。家のまわりで、鳥の巣を探してみてもいいですね。



きせつの行事りょうり
小学館
2008年 ¥1200

季節の行事にはおいしい料理がつきもの。子どもがチャレンジできる行事料理のレシピを紹介した本。各行事の由来、その食べ物を食べる理由、旬の食材クイズなどもあって読むだけでも楽しい!親子でキッチンに立てば、季節行事も更に素敵なものになりますね。



だれも知らない小さな国
佐藤 さとる/作
村上 勉/絵
講談社
1980年 ¥620

幼い日、誰も知らない小さな山で、小指ほどしかない小さな人たちに出会った。誰もが懐かしい気持ちになる、セイタカさんと小人たちとの友情を描いた物語。コロボックル物語の第1弾。

		
<p>しらんぷり 梅田 俊作／作・絵 梅田 佳子／作・絵 ポプラ社 1997年 ¥1500</p> <p>同級生のドンチャンがいじめにあっていることを知っているのに、ぼくたちはしらんぷり。口だししたら自分もやられるから。でも…。揺れ動く少年の心を通して、いじめ問題について深く考えさせられる長編絵本です。</p>	<p>夏の庭-The Friends 湯本 香樹実／作 徳間書店 2001年 ¥1400</p> <p>小学6年生のぼくたち3人は、人の死ぬ瞬間を見たいという好奇心から、町外れに住む一人暮らしのおじいさんを見張ることにした。いつしか見張りは、おじいさんとの交流に変わり…。少年たちのかけがえのない、ひと夏の物語です。</p>	<p>大きな森の小さな家 ローラ・インガルス・ワイルダー／作 足沢 良子／訳 むかい ながまさ／画 そうえん社 2005年 ¥1600</p> <p>丸太作りの小さな家で生活する幼い少女ローラと、その家族。厳しい自然環境の中でも、生きる喜びにあふれています。家族の強い絆と愛の物語です。『大草原の小さな家』シリーズの第1弾。</p>
		
<p>ぼくの羊をさがして ヴァレリー・ハブズ／著 片岡 しのぶ／訳 あすなろ書房 2008年 ¥1300</p> <p>家族と離ればなれになってしまったボーダー・コリーのジャックは、りっぱな牧羊犬になるために、たったひとりで旅に出ました。さまざまな困難にもくじけず、がんばって生きる子犬の姿が胸を打つ感動の物語。</p>	<p>ピロードのうさぎ マージェリィ・W・ピアンコ／原作 酒井 駒子／絵・抄訳 ブロンズ新社 2007年 ¥1500</p> <p>「子どもに心から大切に思われたおもちゃは、いつかほんものになれる」という子ども部屋の魔法の話聞いたピロードのうさぎは、やがてぼうやのお気に入りになります。美しい絵が印象的な古典的名作。</p>	<p>大洲の昔ばなしと里うた 大洲の昔ばなしと里うた 編集委員会／編集 大洲市教育委員会 1992年 ¥1000</p> <p>大洲にも、古くから伝わる民話・民謡があります。臥龍や十夜ヶ橋の伝説、矢落川の名前の由来や盆踊りの歌。他にもいろいろな話や歌が語りつがれています。郷土大洲の伝承に触れてみてください。 ※大洲市立図書館1階にて販売しています。</p>

中学生 高校生 から おすすめ

現在購入できる版の出版年を掲載しています。価格は2013年10月末現在の本体価格です。

		
<p>虫はごちそう! 野中 健一／著 小峰書店 2009年 ¥1400</p> <p>「虫を食べるなんて、ナンセンス!」と思った、そのあなた!実は、私たちの身近な食べ物にも、虫からとった成分が含まれているんです。世界を見渡すと、虫は様々な地域で食べられています。もちろん日本でも。虫から世界が見えてくる一冊です。</p>	<p>13歳からの家事のきほん46 アントラム栢木利美／著 海竜社 2013年 ¥1200</p> <p>掃除っていつするんだろう?洗濯物はどう干したらいいの?「本当に必要な生活の知恵」を、イラスト付きでやさしく教えてください。大人が読んででも「なるほど」と思われることがたくさん。読んだら実際にやってみましょう。</p>	<p>お母さんのたからもの 永田 萌／作 理論社 2009年 ¥1500</p> <p>いつの時代も変わらない「母の愛」を綴った22編の詩と、カラフルで幻想的な挿絵。思春期を迎えた子どもたちや巣立っていく若者たち、今は親の立場となった大人の人にもぜひ読んでもらいたい。絵本作家永田萌さんの書き下ろし詩集。</p>









おばあちゃんが、ほけた。
村瀬 孝生／著
100%ORANGE／装画・挿画
イースト・プレス
2011年 ¥1200

ぼけを抱えたお年寄りが通ってくる施設「第2宅老所よりあい」。涙あり笑いありの毎日を綴った所長のレポートには、お年寄りたちに心を寄せているからこそ見える人間の魅力と命の輝きがあふれています。



海と、がれきと、ボールと、絆。
スタンダード編集部／編
講談社
2011年 ¥1400

2011年3月11日。東北の高校生アスリートたちを襲った東日本大震災。過酷な経験を乗り越えて、スポーツを通して少しずつ“日常”を取り戻しています。前に向かっていく姿に勇気をもらえるノンフィクション。

		
<p>びんぼう神様さま 高草 洋子/画・文 地湧社 2000年 ¥950</p> <p>松吉の家に住みついたびんぼう神は、その家を不幸にすることしかできないのに神棚にまつられたことから、悩み始めます。「なんでわしは、神様って呼ばれるんじゃろう？」本当の幸せ・人間のすばらしさについて考えさせられる一冊。</p>	<p>妖怪アパートの幽雅な日常 1 香月 日輪/[著] 講談社 2003年 ¥950</p> <p>憧れの下宿生活を始めた、主人公の夕土。なんとそこは、妖怪たちの住む奇妙なアパートだったのです。人情味あふれる住人たちに、美味しそうなお飯！こんなところに住んでみたいと思うこと間違いなし！妖怪アパートシリーズの第1弾。</p>	<p>窓ぎわのトットちゃん 黒柳 徹子/著 講談社 1981年 ¥1500</p> <p>小学校1年生で退学になったトットちゃんに、トモ工学園長は「君は本当は、いい子なんだよ」と言いました。その言葉はトットちゃんに大きな自信を与えたのです。トモ工学園で、子ども達のがのびのびと学ぶ様子が描かれています。</p>
		
<p>十二番目の天使 オグ・マンディーノ/著 坂本 貢一/訳 求竜堂 2001年 ¥1200</p> <p>妻子を失い、自殺を決意するほど絶望の果てにいた私は、リトルリーグ「エンジェルズ」の監督を任せられた。そこで12番目の選手ティモシーと出会い…。人生、愛、希望と勇気をテーマにした感動の物語。</p>	<p>最後のひと葉 オー・ヘンリー/作 千葉 茂樹/訳 和田 誠/絵 理論社 2007年 ¥1200</p> <p>肺炎に侵された少女は、ツタの葉の最後の一枚が散ったら自分の命も終わると思いきみありますが…。最後の1行に心震える永遠の名作を含む短編集。オー・ヘンリー ショートストーリーセレクションの第5弾。</p>	<p>松本零士 未来へ翔び立つ名言集 ヤマト・999の言葉たち 松本 零士/著 橋富 政彦/編著 竹書房 2010年 ¥1143</p> <p>幼少期、新谷に疎開していた松本零士さんの漫画に出てくる名言を解説付きで紹介。懐かしい台詞や、考えさせられる言葉がたくさん載っています。</p>

子どもとともに 本をひらこう 未来のページ
(『大洲市子ども読書活動推進計画』より)



2013年11月 発行

大洲市立図書館
〒795-0065
大洲市東若宮17-5
TEL (0893) 59-4111

「うちどくノート」と「ブックリスト」はこちらからダウンロードできます。
<http://library.city.ozu.ehime.jp/>

掲載については出版社の許諾を得ています。
無断で転載することを禁じます。